

2026 年 10 月 2 日

株式会社ヴィス

【動画書き起こし記事】M&A、株主優待の新設に関する対談動画

ワークデザインを手がける株式会社ヴィス（本社：東京都港区、代表取締役社長：金谷智浩、東証スタンダード：5071）は、2026 年 9 月 30 日に公開した「IRTVinterview」（M&A と、株主優待の新設など株主還元強化について）の対談動画を書き起こし記事として公開しましたのでお知らせします。

目次

■パドルデザインカンパニー株式会社と M&A

- ・ [M&A による相乗効果](#)
- ・ [両社の顧客基盤の共有によるシナジー](#)
- ・ [収益構造の転換](#)
- ・ [なぜ M&A を選んだのか](#)
- ・ [統合後の人材活用](#)
- ・ [今後の M&A についての考え](#)

■株主還元

■株主優待新設

■ IRTVinterview 対談動画

URL (YouTube) : <https://youtu.be/XDifpWiW5gg?si=RsHKomKulRdBIRb5>



(記事本文)

.....

...

IRTV： 本日は東京スタンダード市場上場 証券コード 5071 株式会社ヴィスより代表取締役社長、金谷さんにお越しいただきました。金谷さんよろしくお願いいたします。

金谷： よろしくお願ひいたします。

IRTV： 貴社は 2026 年 9 月 14 日に株式譲渡のお知らせを開示され、ブランディングを手掛けるパドルデザインカンパニー株式会社を子会社化されると発表されました。本日はこの M&A の狙いや相乗効果、合わせて発表された株主還元強化について伺っていきます。

まずは、金谷さんの自己紹介と企業概要を教えてくださいませんか。

金谷： ヴィスは『はたらく人々を幸せに。』をパーパスに、オフィスデザインを中心にブランディング事業を展開する会社でございます。また、造ったオフィスで体験価値を高めるエクスペリエンスデザインというものを掛け合わせながら、ワークデザインを展開している会社です。

パドルデザインカンパニー株式会社と M&A

M&A による相乗効果

IRTV： パドルデザインカンパニー社を M&A されたということですが、両社が一緒になることで生まれる相乗効果について具体的に教えていただけますでしょうか。

金谷： 我々は空間デザインを強みとしており、パドルデザインカンパニー様は企業のビジョン・ミッション・バリューや企業理念の言語化を得意とされています。また、創業 25 年、従業員が 16 名の会社です。社長が営業兼ディレクターをされており、15 名のデザイナーの方がいらっしゃるクリエイティブ集団です。

IRTV： 社長がおひとりで営業されているんですね。

金谷： そうです。

営業マン自体は必要なく、全てお問い合わせで獲得されております。

クリエイティブエージェンシーで言いますと、大手企業の下請けというケースもありますが、直取引が 90%以上、リピート率 70%ということで、非常に信頼性の高い会社だと考えています。

対象会社の概要

パドルデザインカンパニー株式会社

創業	2001年1月
代表取締役	豊田 善治
資本金	3,000万円
青山本社	東京都港区南青山
従業員数	16名
MISSION	違いを言語化し、魅力をデザインする。
VISION	企業に、競争力を。社会に、活気を。

両社の顧客基盤の共有によるシナジー

IRTV：パドルデザインカンパニー様と貴社の顧客基盤を相互にご紹介し合うことで、案件数や一件あたりの単価をどの程度高めていく想定でしょうか。

金谷：オフィスデザインはタイミングビジネスですので、オフィス移転や改装のタイミング以外では大きなビジネスになりづらいですが、パドルデザインカンパニー様の、川上の企業理念の構築や経営課題の解決といった「ブランディング」領域から参入することにより、案件が早期化され、営業機会が創出されるという狙いがあります。また、オフィスデザインをさせていただいた後に、企業理念の構築などの支援を行うことで、クロスセルが実現でき、一社あたりのLTVを高めていきたいと考えております。

収益構造の転換

IRTV：収益構造の転換にもなるのでしょうか。

金谷：デザイン業務の拡大によって粗利益率の向上を狙います。

なぜ M&A を選んだのか

IRTV：元々貴社でもブランディングの機能をお持ちですが、社内で育てていくよりも M&A という選択肢を選ばれた背景はどういったところでしょうか。

金谷：パドルデザインカンパニー様は創業 25 年、取引実績 3,000 件超えという基盤があり、優秀なデザイナーが 15 名いらっしゃるという点に大きな魅力を感じました。当社は、インテリアデザイナーが中心で、グラフィック系デザイナーは数名しかおりませんでした。そこに入っていただくことで、専門性を組織のノウハウとして蓄積し、お客様に付加価値の高いサービスを提供することが狙いです。

IRTV：今回の買収を経て、デザイナー同士のコミュニケーションの場は想定していますか。

金谷：オフィスの共有や社内イベントを通じて、人間関係を構築していく中で仕事の質を高めることができると考えています。また、勉強会を開催し、当社のメンバーに彼らのノウハウを共有いただくことで文化と知見を融合していきたいと考えています。

IRTV： クリエイティブは様々な刺激から生まれますよね。

金谷： そうですね。ヴィスが特徴としている空間、体験のデザインとパドルデザインカンパニー様が持っているブランド戦略をうまく交わせながら拡大できればと思います。

対象会社の概要（事業内容・強み）



Copyright© VIS Co., Ltd. All rights reserved.

公開資料

6

統合後の人材活用

IRTV： パドルデザインカンパニー様は社員数が16名ということで、少数精鋭だという印象を受けましたが、統合後は人材をどのように活かしていこうとお考えですか。

金谷： 我々はインテリアデザイン、パドルデザインカンパニー様はブランディングデザインですが、異なる両社のデザイナーが交わることで、お互いが持つ専門的な知見が高まるようなシナジーを期待しています。人材としても成熟していくことで、年間約400件手掛けているオフィス実績を基盤に、多角的にサービスを展開してまいります。

今後のM&Aについての考え

IRTV： 今回のM&Aは中期経営計画の一環と伺っています。「VISION2027」の成長投資枠の中で、今後の買収の規模間やパイプラインの案件についてどのようにお考えでしょうか。

金谷： 今回の M&A は成長投資の第 1 弾と位置付けておりまして、資本コストや株価を意識しながら次のターゲットを探したいと考えています。最大 40 億円の成長投資の中で、一件の単価が 10～20 億円というような規模の会社を探しながら、ワークデザインと親和性の高い企業との M & A を引き続き検討しております。

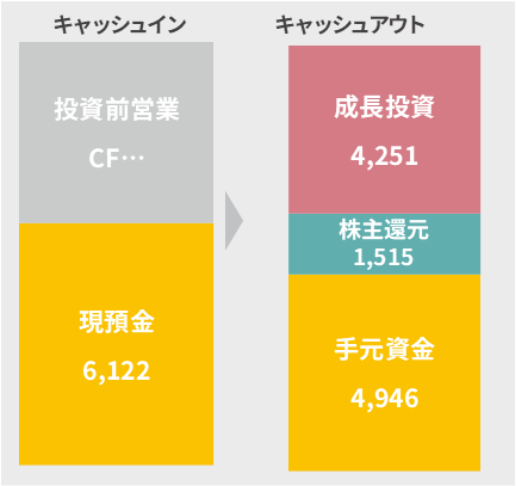
株主還元

IRTV： 投資と還元の両立についてもお伺いできればと思います。貴社は成長投資として最大 40 億円を掲げる一方、原則として減配しない累進配当も打ち出されています。攻めの投資と還元の継続をどのように両立させるお考えでいらっしゃいますか。

金谷： 成長投資に力を入れたいと考えていますが、バランスも重要です。月商 3 ヶ月分の手元資金を確保しながら、生み出すキャッシュを成長投資と株主還元分配到します。

中期経営計画 (VISION2027) 期間の資本戦略

手元資金の適正化により、
キャッシュアロケーションを行い、株主還元の強化と成長投資を推進
中計3年間 (FY2025～FY2027) の資本戦略



中計期間戦略	FY2025進捗
成長投資 - 戦略的な M&A (最大40億円) - 人的資本投資	- 経営陣による直接精査を徹底し、ソーシング体制を強化 - 生成AI活用など内部投資を加速
株主還元 現預金水準を適正化し、株主還元を強化	- 配当性向の引上げを決定 30%→40% - 累進配当採用

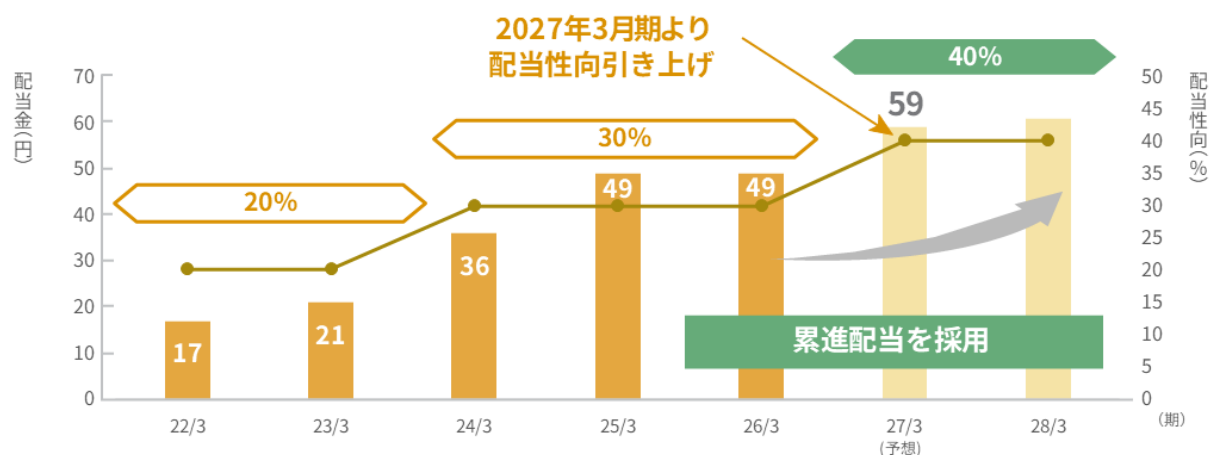
IRTV： 3 ヶ月分の手元資金を残しつつ、株主還元、成長投資へキャッシュアロケーションされていくということですね。

株主還元につきまして、配当性向を 30%から 40%へ引き上げられるということですが、この 40%という数字は1つの到達点と考えてよいのでしょうか。もしくは、今後はさらに上げる方針でしょうか。

金谷： 40%にした理由といたしましては、国内の同業の大手企業（什器メーカー等）の水準を参考に、業界の流れに合った配当性向を設定いたしました。昨年度から累進配当を打ち出し、原則として減配せずに安定した増配が可能な方針を出していますので、株主の皆様安心して長期保有していただきたいという思いがあります。配当性向のさらなる引き上げは、現時点では想定しておらず、成長投資とのバランスを重視しております。

配当方針

累進配当の採用と配当性向の引き上げ（30%→40%）により 1株当たり配当金は59円を予想



Copyright © VIS Co., Ltd. All rights reserved. 16

株主優待新設

IRTV： 今回、株主優待を新設された狙いと、安定株主作りへの考えを教えてください。

金谷： 当社の課題の一つに流動性の低さがあります。今回の株主優待の導入により、100株保有されている株主様に、200、300株と保有していただくことで、活性化を図ります。それにより、複数単元の保有を促し、株主層の拡大と市場流動性の両立を目指します。また、株式会社ウィルズ様のプラットフォームを使用し、電子マネーやデジタルポイントへの交換に対応しております。

原則として、2単元以上を保有されている株主様が対象となりますが、当社の株主構成が100株に次いで1,000株保有の層が多いため、さらに保有いただけるよう1,500株以上の優待を手厚く設定しております。8月末の株価の算定では、1,500株以上保有いただいた株主様の想定利回りが6.02%となっております。200株以上保有の方につきましては、総利回りのシミュレーションが4.69%と高い水準を意識し設計しました。

IRTV： 株主様のことを思っの株主還元ということがとても伝わります。

金谷： ありがとうございます。

市場評価と魅力を発信することも重要だと考えております。

株主優待制度を導入

株主優待制度を導入し、当社株式への認知と投資魅力を高め、株主様との対話強化を目指す。

対象

毎年9月末現在の当社株主名簿に記載された、200株（2単元）以上保有の株主様※初回は2026年9月末日の株主様が対象となります。

デジタル優待制度

多彩な交換先

電子マネー、ポイント、各種商品、サービス等

共通コイン「WILLsCoin」

他社のポイントと合算でき、宿泊券やふるさと納税等、より幅広いラインナップから選択可能

デジタル完結

特設サイトでいつでもどこでも交換可能

還元スケジュール

中間優待と期末配当の年2回還元により、投資家様への利益還元と中長期的な安定保有の促進を図る。

Q1

Q2

Q3

Q4

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

優待

配当

59円予想

※2027年3月期 予想

株主優待ポイント表 (1ポイント≒1円相当)

保有株式数 (9月末日現在)	株主優待ポイント数	総利回シミュレーション (※2026年8月31日時点での終値で算出)	進呈時期
200株～299株	1,000pt	4.69%	毎年11月頃 (予定)
300株～399株	3,000pt	5.05%	
400株～599株	4,000pt	5.05%	
600株～799株	6,000pt	5.05%	
800株～999株	8,000pt	4.95%	
1,000株～1,499株	12,000pt	5.20%	
1,500株以上	35,000pt	6.02%	

※ポイントの次年度繰越はできません。
※各レンジの最低保有株式数で計算した場合（1,500株以上であれば、1,500株）を前提で想定しており、利回りを担保するものではありません。
※配当利回りを1株あたり59円予想で計算しております。

IRTV： 最後に視聴者、投資家の皆さまにメッセージをお願いいたします。

金谷： 今回の株主優待の新設を筆頭に、業績成長はもちろんのこと、誠意ある情報発信を続けていきたいと考えておりますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

IRTV： 金谷さん、本日は貴重なお話をいただきありがとうございました。

金谷： ありがとうございました。

.....
(記事おわり)

【適時開示資料】

- [株主優待制度の新設に関するお知らせ](#)
- [パドルデザインカンパニー株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ](#)

【会社概要】

社名：株式会社ヴィス

代表者：代表取締役会長 中村 勇人 代表取締役社長 金谷 智浩

事業内容：ブランディング、データソリューション、プレイスソリューション

設立：1998年4月13日

上場市場：東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：5071）

HP：<https://vis-produce.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ヴィス IR 担当

E-mail：ir@vis-produce.com